

令和6年度 大田区立大森第六中学校 自己評価 報告書

令和7年3月8日

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は12学級、全校生徒373名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月には校庭も一面桜の花で覆われる。平成31年度にオープンした勝海舟記念館とともに、隣接して区民の憩いの場である周囲を15分ほどで歩ける風光明媚な洗足池がある。生徒たちは毎週清掃活動や、この池にホテルを自生させる活動に取り組み、毎年その風情が地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミズコンポスト、夏の陽射しをさえぎるゴーヤのグリーンカーテン、さらに近隣の大岡山駅の駅前花壇メンテナンス等も行っている。教育目標は〇気品のある生徒の育成 〇実力のある生徒の育成 〇健康の優れた生徒の育成の3つを掲げている。教育活動は、2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、地域のために、環境を保全する環境教育や、災害に立ち向かう場所としての防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権・人命尊重・平和教育を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育てている。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を考え解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行うことで、SDGsを到達目標としながら、20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄					
								評価 人数	コメント				
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成未 来社 会を 創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価 (16) 生徒生活アンケート (10～12) 保護者学校評価 (16) の肯定的評価の平均	4	全ての授業でICTを活用し、話し合い活動を取り入れた授業を行ったことで、主体的・対話的で深い学びを実践することができた。 生徒生活アンケートでは「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」と答えた生徒は84.2%と前年度から約5ポイント上昇した。また「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」は86.7%と前年度から約1ポイント上昇している。 成果評価についても90%を超える数値を得ることができた。	A 11	・SDGsについての取組を掲示させていただきました。生徒の皆さんが真剣に学んでいる様子が分かりました。児童館に来ている子どもに伝えてもらう機会があればうれしいと思いました。 ・時代に合った機器を取り入れ関連に意見交換することで生徒たちに情報が増えることは学力以外にも社会生活を送る上で有効だと思います。また、インターネットからの情報は生徒たちに有害なものもあると考えられるので、注意を喚起したい。 ・SDGsの取組が自らの行動に発揮されてきている。生徒の視野を広げるため、今後もESDを推進していった欲しいです。 ・「新聞やテレビのニュース」以外のネットニュースまで入るともう少し上がるかもしれないと思った。ただ、ネットニュースはフェイクも多いため、正しいインターネットの使い方を含めて、扱い方も学習し、フェイクの見抜き方も覚えてくれると良いと感じた。 生徒生活アンケート⑫の失敗を恐れてしまう一定の生徒は、失敗をする必要が無い人もいると思う。また、親の方で対応してくれると考える人もいるだろうから、2と1を選んだ生徒を上にあげていくのは大変だと思うので、時間をかけて焦らずに生徒と向き合おうかなと感じた。 ・さまざまな行事に積極的に取り組む姿勢に感じます。この気持ちを忘れず成長してほしいです。 ・自己評価は適切であると思います。 ・想像力、解決力、活用能力いずれも社会生活を営む上で不可欠なものです。主体的に考え、同時に他者との協働作業を行っていく。難しい作業だが、積極的に取り組んでほしい。 ・ほぼ全ての項目で昨年度より成果評価が上昇していて、取組に対する成果を感じました。				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				3:70%以上90%未満		B 0			
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	3				2:50%以上70%未満		C 0			
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。										
											1:50%未満		D 0

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
								評価	人数
お世帯 お界別 た目 とを 標 担な 2 うが 人 材 国 を 際 育 都 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価(18,19) 生徒生活アンケート(16,17,19) 保護者学校評価(17) の肯定的評価の平均	4: 90%以上	英検対策のための青竹クラブは今年度毎月1回、水曜日放課後に実施する形式に変更して実施した。なお、その成果として3年生の70%以上が英検3級以上取得することができた。	A	7
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		3: 70%以上90%未満	地域の方に見守られながら、様々なボランティア活動に参加することができた。生徒生活アンケートでは「私は、地域行事やボランティアに積極的に参加している」、「私は生徒会活動や委員会活動、係の仕事などに積極的に取り組んでいる」では前年度に比べそれぞれ約5ポイント以上上昇している。成果評価は89.6%とあと0.4ポイントで「4」となるところであった。今後も地域の方々に協力を仰ぎ、地域に貢献できる生徒の育成を図っていききたい。	B	5
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		2: 50%以上70%未満		C	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 50%未満		D	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが 個 な 性 力 と 能 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通して継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	生徒学校評価(7～11,23,25) 生徒生活アンケート(1～4,13,15,18) 保護者学校評価(7～9) 生徒授業自己評価 の肯定的評価の平均	4: 90%以上	生徒生活アンケートでは「私はルールや決まりを理解し、守っている」や「私の生活(服装や態度)はきちんとしている」の項目では、それぞれ前年度に比べ、5ポイント以上数値が上昇しており、生徒の規範意識がより高まっている。また、「学校の授業(体育)での取り組みで基礎体力が向上した」の項目では、92.8%と前年度から約20ポイント以上上昇した。教員が体育の授業内容を工夫改善したことや体力テストを適切に実施し、その結果を効果的に活用した成果であると考え。今後も体育の授業に関して研究を重ね、工夫・改善を図っていきたい。	A	11
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		3: 70%以上90%未満		B	1
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		2: 50%以上70%未満		C	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3		1: 50%未満		D	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
								評価	人数						
学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	生徒学校評価 (1,2,6,12,14,17,22) 生徒生活アンケート (9) 保護者学校評価 (1,2,11,12,14,15,20) 生徒による授業評価 の肯定的評価の平均	4: 90%以上	生徒学校評価では「大森第六中学校に入学してよかったと思う」と答えた生徒は97.0%と前年度から約10ポイント以上上昇しており、多くの生徒が六中へ入学したことに満足していることがうかがえる。また、「授業は、わかりやすく、ていねいである」と回答した生徒は97.7%と前年度から約8ポイント以上上昇している。「先生は、勉強についての質問や疑問に丁寧に 対応している」では96.2%と前年度から約3ポイント以上上昇しており、教員の授業における工夫や熱意が生徒に伝わっている。 ただ、「学習(授業)が楽しい」では85.0%と前年度から約6ポイント下降している。授業がわかった、楽しいという気持ちを高めるため、生徒授業アンケートを参考に、より一層授業研究や研修に取り組む必要があ	A	12	・生徒さんの教員に対する評価が良いことで教員側指導の素晴らしさを感じます。学校訪問時に生徒さんたちは必ず挨拶されることでも、先生たちの教育充実ができていることを感じます。 ・教職員の方々の特色ある教育活動により、生徒の母校愛が生まれてくるのだと思います。“感謝” ・先生方の負担が少しでも減るように取り組んで欲しいです。 ・地域の特色を生かした教育活動とはどのようなことなのか、生徒が何を感じたかを聞いてみたい。 授業の楽しさについては、ICTをうまく活用できないと取り残されるような気にもなると思うが、原因が分かっているのであれば、少しずつ改善できると思うので、先生方に期待させていただきます。 ・研究・研修お疲れ様です。先生方も心にも余裕ができるよう祈っております。 ・先生方の授業は大変興味深く進められています。自分としても中学の頃にこのように感じる事ができればまたかわった選択があったのでは。質問をしてくれる生徒に対しては誰でも充実した対応をしてくれると思う。 ・自己評価は適切であると思います。 ・教員の働き方改革を含めて教育の環境を大いに改善することは生徒たちの教育を向上させるものだと思います。 ・例年より学校評価が上昇し、取組の成果が出たと思いますが、学習が楽しくなるような工夫が出来ると良いと思います。					
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3: 70%以上 90%未満	B					0				
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 50%以上 70%未満							C	0		
					1: 50%未満									D	0
た自個 め分別 の目 学し標 びく5 をい き援 いきと ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	生徒学校評価 (3～5,15,21) 生徒生活アンケート (14) の肯定的評価の平均		4: 90%以上	生徒学校評価では「学校の雰囲気は明るく、みんな生き生きと活動できている」、「学校生活は楽しい」、「学校はいじめや暴力行為のない学校づくりに取り組んでいる」の各項目では前年度に比べ、それぞれ5ポイント以上上昇している。引き続き、いじめや暴力行為などを未然に防ぎ、生徒全員が安心・安全に生活できる学校運営を心掛ける。 また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携をより深め、生徒全員がそれぞれの個性を発揮できる環境をつくる。	A	12					
②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。		4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3: 70%以上 90%未満	B	0									
③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2: 50%以上 70%未満			C				0				
				1: 50%未満								D	0		

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
安柔個別 なで目 創標 育造6 環 境な学 つ習 く空 り間と 安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	生徒学校評価 (13,20,24) 保護者学校評価 (3～5,18,21) の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	生徒学校評価では「教材や教え方を工夫している先生が多い」では98.9%と前年度に比べ約9ポイント以上上昇し、「先生は、相談事や悩み事について適切に応じてくれている」では92.4%と前年度に比べ約4ポイント上昇しており、生徒に適切な学習空間を提供することはできている。ただ、「学校の施設・設備は十分整っている」では81.5%と肯定的評価が前年度を約15ポイント上回ったものの、依然として低かったため、区にも相談をしながら施設・設備のより一層の充実を図る。	A	9	・施設の不足は防災用品でしょうか？引き続き不足分の解消に努力をよろしく願いいたします。 ・さらなるICT活用を期待し、教育に生かしてください。 ・保護者ボランティアによる年4回の清掃活動で手が届かない場所の美化活動が行われており、素晴らしいと思います。 ・ICTが入ってきたことにより、設備の課題が出てきているような気がする。WiFiがもう少し安定してくれたり、充電が早く無くならないような教材があっても良い気がする。 また、建物は古くてもきれいに使う努力をすることで、きれいにできると思う。逆に、新しい物にしたところで、汚く使えば汚いので、使う人の考え次第でもあると思う。 ・新しい施設は恵まれたものも多いと思うが、使い方によりいくらでも変化していくと考えています。気のおけない友を一人でも多くもってほしい。 ・自己評価は適切であると思います。単なる感想ですが、生徒学校評価20では90%を超える評価がされている一方で、保護者評価18番では70%程度、19番では85%となっています。「子は学校に満足。保護者も学校に満足。保護者の中には子どもの学校での様子が分からず不安を覚えている方がいる」ということでしょうか。18番と19番に乖離がある理由があまりよく分からないなと感じました。(進路相談や生活面の相談はしっかりやってくれているが、その他の悩みに対して学校が聞いてくれないと感じている保護者がいるということですか?) ・成果評価は4でもいいと思う。 ・学校での施設・設備に関しては低めの評価となったようですが、学校だけでは改善できないところだと思います思うので仕方がないのかと思います。保護者の評価に比べ、生徒の評価がだいぶ高くなっていて、その点はよかったと思います。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4		3: 70% 以上 90% 未満		B	3		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 50% 以上 70% 未満			C	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 50% 未満			D	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
学地学 個校域校 別をコ・目 つミ家 標くユ庭 7リニ・ まテ地 すイ域 の核 連と携 して協 働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	生徒生活アンケート (5～8) 保護者学校評価 (6,10,13,19,22～25) の肯定的評価の平均	4: 90% 以上	保護者学校評価では「教科の成績評価の方法について理解している」では85.2%と前年度から約7ポイント上昇、「学校の様子を学校便りや学年便りで保護者に詳しく伝えている」では90.3%と約4ポイント上昇している。保護者会や学校説明会、学校ホームページを通じて説明を行った成果であると考え。また、「学校は地域の力を子どもたちの教育活動にいかしていますか」では92.9%と約8ポイント上昇している。地域行事へのボランティア参加や大岡山花壇整備への参加がこのような数値にあらわれていると考える。	A	9	・学校の教職員の皆様、並びに運営協議会の皆様とは地域の様々な行事等でお世話になっております。皆様が児童館のことを知ってくださり、気にかけてくださっていることを感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。 ・先生たちの仕事量の多さは理解しています。PTAさんと連携することが難しい昨今、大変だと思いますが、引き続きの向上を期待しています。 ・学校・家庭・地域の役割をしっかりとらえ、育成していくことが大切かと。 ・コロナ禍にできなくなっていた地域活動も元に戻り、大変よかったです。 ・成績評価の方法については地道に説明をしていかないと保護者からしたら分かりづらい。HPは充実してきたと思う。対外的にお知らせしたい内容については深い所に置かず、トップページにひとまず目くらしいは見られるようにすると、相手もありがたいのではないかと感じた。(例:新入生保護者説明会等) 地域から手伝ってほしいイベントがあった場合、お願いできるのか、それとも今やっているボランティアで目一杯なのかを知りたい。(すでに先生方も生徒たちもたくさんボランティアをしているので申し訳なく思う。) ・今の生徒たちはやることがありすぎて大変と感じる。そして先生方も同じと感じる。地域でできることがあれば協働して取り組んでいきたい。 ・自己評価は適切であると思います。 ・確かに②と③の活動には足りない点があるかもしれない。 ・「地域コミュニティの核として…」の取組評価は成果に表れていて良いと思います。この項目の生徒生活アンケートの評価が少し低いですが、各家庭で子どもとコミュニケーションが取れるようになると良いと思いました。(思春期でなかなか難しいとおもいますが)登下校の見守り活動等の児童・生徒の健全育成や安全指導にかかわる取組を地域の協力により実施しているの取組評価が2と低めになっていますが、六中の生徒はあまり問題がなく、必要性が少ないのかとも思いました。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2		3: 70% 以上 90% 未満		B	3		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2		2: 50% 以上 70% 未満			C	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 50% 未満			D	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。